

利用者氏名: 足立咲菜(2021年3月10日生: 4歳5か月)

個別支援計画

作成年月日: 2025年9月1日

<p>利用者及び家族の生活に対する意向</p>	<p>指示されると動けない(理解できていないのと不安が大きい)、不安が強い、プランコ苦手、人の名前を覚えられない、疲れがたまると熱が出やすい、お箸が使えない、指が使えずお茶を口で開ける。言葉が二語文、3歳までママも言えなかった。</p>	
<p>総合的な支援の方針</p>	<p>本人の高い主体性と視覚優位な特性を最大限に活かし、身体の土台(脊柱・呼吸)を整えることで、感覚・理解・行動の円滑な統合を目指します。言葉による指示を最小限にし、感覚入力(揺れ・圧・呼吸)を優先的に取り入れることで、不安を解消し、自己効力感を育む療育を行います。</p>	
<p>長期目標 (内容・期間等)</p>	<p>脊柱の柔軟性と呼吸の安定を基盤として、身体のコントロール能力を高め、自分の意思を言葉や動作で円滑に表現できるようにする。</p>	<p>支援の標準的な提供時間等 (曜日・頻度、時間) 金曜日 月2回</p>
<p>短期目標 (内容・期間等)</p>	<p>感覚遊び(揺れ、圧迫、吹く遊び)を通じて身体の緊張を緩め、見通しを持って主体的に活動に取り組み時間を増やす。</p>	

○支援目標及び具体的な支援内容等

項目	支援目標 (具体的な到達目標)	支援内容 (内容・支援の提供上のポイント・5領域※との関連性等)	達成時期	担当者・提供機関	留意事項 (本人の役割を含む)	優先順位
不安が強く指で動けない	脊柱の柔軟性を高め、身体から安心感を作る	不安の元となる脊柱の固さを和らげるため、バランスボール等で背面の柔軟性を高めます。呼吸を深く整えることで、身体の内側から安心感を作り、自発的な行動を促します。	12か月	保育士・児童指導員		
指先が不器用でお箸が使えない	粗大運動から微細運動への発達の流れを促す	指先を動かす土台として、脊柱から肩甲骨、肘へと繋がる「身体意識の流れ」に沿った粗大運動を行います。ぶら下がったりハイハイ等で手首や掌の力を育て、微細運動へ繋がります。	12か月	保育士・児童指導員		
言葉の遅れ(二語文)と聴覚理解	呼吸と発声を連動させ、発話の意欲を高める	吹き戻しやジャボン玉等の「吹く遊び」を通じて、口腔機能と呼吸のコントロールを促します。しっかりと息を吐き切る経験を重ねることで、明確な発声と言葉の拡大に繋がります。	12か月	保育士・児童指導員		
プランコやハランスが苦手	前庭感覚を整え、空間での自己位置を把握する	揺れる遊具や回転する遊びを、本人が「心地よい」と感じる範囲で段階的に行います。前庭感覚(バランス感覚)を刺激し、空間の中での自分の位置を正しく捉える力を育てます。	12か月	保育士・児童指導員		

※5領域の視点「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」

提供する支援内容について、本計画書に基づき説明しました。

本計画書に基づき支援の説明を受け内容に同意し、交付を受けました。

年 月 日

年 月 日

(保護者署名)

